日刊 (日曜日、 土曜日、 休日休刊



東京都

する。

次

目

規

める。

百九十四号)

の一部を次のように改正する。

(昭和二十五年東京都規則

第二条第一項中「第十四条第一項」を「第十四条」に改

○東京都建築基準法施行細則の一部を改正する規則 ……………(都市整備局市街地建築部調整課)

示

○平成十四年東京都告示第四百四十四号 築基準法施行細則による建築工事施工計画等に添)平成十四年東京都告示第四百四十四号(東京都建 域 付する書類の様式) ……………(都市整備局市街地建築部建築企画課) 壌汚染対策法の規定に基づく汚染されている区 の一部改正……

域の指定の一部解除…………………(同)… 壌汚染対策法の規定に基づく汚染されている区

Ħ.

-------(環境局環境改善部化学物質対策課)…|三

○東京都乗合自動車ⅠC一日乗車券の発売等に関す

る規程の一部を改正する規程…………………

六

○開発行為に関する工事完了………………… …(都市整備局多摩建築指導事務所開発指導第一課)…

六

0)

則

規

東京都建築基準法施行細則 **の** 部を改正する規則を公布

とに、

それぞれ表一及び表二の冷欄に掲げる事項に係る」

1

発 行

小

池

百 合子

●東京都規則第百三十七号 東京都建築基準法施行細則 令和六年八月五日 規則 東京都建築基準法施行細則の一部を改正する

物における新築、 二号様式の三による」を加え、 について」を削り、同項の表を削り、 数が三以上の建築物に限る。」に改め、 のにあつては別記第二十二号様式の三、 を有する建築物で延べ面積が五百平方メートルを超えるも 積」を「当該部分の床面積の合計」に改め、 階数を有する」を「一の建築物における新築、増築又は改 造以外のものに限る。)」を加え、「地階を除く三以上の の表一及び表二のい欄に掲げる建築材料及び工事の種類ご の階数を有する建築物で延べ面積が五百平方メートル以下 欄に掲げる建築材料の種類ごとに、同表の欄に掲げる事項 築に係る部分の地階を除く階数が三以上の」に、 一項第一号又は第二号」に改め、 ものにあつては別記第二十二号様式の四」を「一の建築 第十四条第一項中「第六条第一項第三号」を「第六条第 第十五条の四第一項中 増築又は改築に係る部分の地階を除く階 「書類は、」の下に「別記第二十 「地階を除く三以上の階数 「建築物」の下に「(木 同条第二項を削る。 地階を除く三以上 同項第一号中「次 「次の表のい 「延べ面

事項に係る」を削り、 に改め、 工事の種類ごとに、 を削り、 別記第二十一号様式の三を次のように改める。 同項第一 「次の表一及び表二のい欄に掲げる建築材料及び 一号中 それぞれ表一及び表一 同項の表一及び表二を削る。 「第十四条第 一項 一の冷欄に掲げる を 「第十四条」

代表となる工事監理者

住 会社名 名

工事施工者

在 全 性 名 名 名

礟

第21号様式の3(第14条関係)

築基準法第12条第5項の規定に基づき、下記のとおり建築工事施工計画を報告します。	☆式♡3(第14※題家) 解 幣 Ⅰ 艸 酢 Ⅰ 꽉 画 磐 邛 艸 別記第二十二号様式の三を
9	

施工結果を報告します。 書に記載の事項は、事実に相違ありません。 住 所	(日本産業現格A列4番) (注意) ※印のある欄は、	報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合 無可 に対する はは に対する にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	理解 (14)	(13) 構造計算の方法	※ 吳 付 攜 (12) 計画変更年)	(11) 確認・計画通知	(9) 高さ 軒高	(8) 構造 木造·S造	PCa·HPCa (5) 階数 地上	場代理人(所:	場所在地	(2) 世 A	確認済証交付機関 (1) 建築工事施工計	造)・その他()	m² (6)延べ面積 m²	電話()	電話())	下記の建築工事施	工事の種類 新築・増築・改築 品質窓!		その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名) 工事施工者電話 ()	電話 () 代表となる工事監理者 建設業の許可 大臣・知事 第()号	()級建築士事務所()登録第()号 ()級 建 築 士()登録第()号	
年 編 語 部 20所在地、名称及 11 日 日 日 日 日 日 12 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)				ルート()、(Y)	及び番号	年月日及び番号	明旧	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造	塔屋 階	开 名	Η 6		建築工事施工計画報告書受付年月日及び番号		(我人であり、日		住 所 会社名	L結果については、工事監理者よ	品質窓口責任者氏名					Ľ事施工結果を報告します。 寸図書に記載の事項は、事実に相
田			*	ト()、みの街(шш	ш	10)確認済証交付機関	造十	₩2		M		年月日		たの事務所の所在地、 名参			いり報告を受けました。		、、その事務所の所在地、名称及ひ	電 話 (建設業の許可 大臣・知事	電 建築士事務所 建 築 士		Ĥ

東

(10)

確認・計画通知、

年月日及び番号

<u>п</u>ш

囲

网

浬

併

Ы

Ш

¥

Ğ

紳

声

年年 併 京

 $\widehat{\Xi}$ (4) (3)

離沿 言え

木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(

8

型配

Ħ

最高

Ħ

(9)確認済証交付機関

都

踏数

龗

・芸芸

龗

羅

(5)建築面積

現場代理人(所長)

氏名 氏名

公

2

華

治

焽

1

琳

所属会社

現場事務所

報

Ξ

工事現場

₩

桱

品質窓口責任者氏名

(法人にあっては、

(15)

П

ς,

V

 \subseteq

ſ

認定材料

幽

芝

鄉 7

免震・制振部材

9

勻

義祖 (羅)) か)

S造

騒から

解また

使用部位

解まぐ

(13)

RC造・WRC造

SRC造

騒から 踏から

解まって 解また) , (Y)

(14)

77

(12) 構造計算の方法

8

1 ※印のある欄は、記入しないでください。2 代表となる工事監理者及び工事施工者は、しているか十分確認して記入してください。 本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等7

3

第22号様式の4 削除 別記第二十二号様式の四を次のように改める。

附

1 この規則は、令和七年四月一日から施行する。

2 京都建築基準法施行細則の書式により提出されている報 この規則の施行の際、現にこの規則による改正前の東

築基準法施行細則の書式により提出されたものとみなす。 告書その他の書類は、 この規則による改正後の東京都建

示

告

●東京都告示第八百六十八号

法施行細則による建築工事施工計画等に添付する書類の様 平成十四年東京都告示第四百四十四号(東京都建築基準 の一部を次のように改正する。

令和六年八月五日 東京都知事 小 池 百合子

改め、 本則中「第十四条第一項及び第二項」を「第十四条」に 本則に次の二号を加える。

に掲げる様式 のい欄に掲げる工事の内容ごとに、それぞれ同表の欄 建築工事施工計画報告書に添付する書類は、 次の表

二 完了検査申請書又は中間検査申請書に添付する書類 は、様式三及び次の表のい欄に掲げる工事の内容ごと

本則に次の表を加える。 に、それぞれ同表は欄に掲げる様式

工事の内容	(\(\sigma\)	
画報告書に添付建築工事施工計	(3)	
又は中間検査申売了検査申請書	(は)	

様式	(≡)	(二)	
一から様式六ま	木工事	鉄骨工事	
式六までを次のように改		様式二	
める。	様式六	様式五	

木工事	鉄骨工事	工事 コンクリート ま筋工事又は	
	様式二	様式一	する書類
様式六	様式五	様式四	書類に添付する

(--)

					п	一河部	2 確認	鉄作						樂	渖						I	認項目	宇宙	ービ	176	1							
		朣		頭・検	辉零					Н	摇			筋	\equiv				囲	検査計	政験・	‡						Ηà	춈			肼	
銀魚筋	李	#	<u> </u>			. 71		冷間	棋	禁中	禁	渖	黨	使用径	潘		構造	弁践	±7	п	吹査項品	莎	海鱼	品	#	맭	庘		#	段 定型		基礎の種類	
コンクリ点 普 ヨ	観検	破壊	典数	引張	超音波探	引張試験	外観	間直角カ	量確認	施工会社	手工法名	用	#	用径 D	50		構造体コンク	式体の養	٠ لا	打込後	打込中	打込前	検査担当者(工事施工者)	品質管理責任者	設方法	準強	用部位	Н	設方法	使 用 部 位設計基準強度	Н	重類	
世 月 田	査 実 施	横	験 機 関	引張試験併用	超音波探傷・測定検査(簡所/ロット又は%)	(箇所/ロット)	検 査(%)	ッ <i>ターの</i>	・施工前	施工会社(優良圧接業者)	(容接材	餾	種	~D	SD295		J - F	生場所・	ランプ試験等の代行業者名	□養生方法	□テストピー	□試練 □散水	事施工者) 氏名	皆 氏名			器~ 器			杌		□□接島億(
	砯	24	26					使 用	撰 零		<u>*</u>	所	類	D			試験機関名	管理者	寸業者名	□養生温度	ス採取	火 口配	**				~器~						и ⁴
	工事器								700				圧接継手	~D	SD345	鉄筋化	Fc36N/mm ² Fc36N/mm ²				□打込速度・	餅					뫔			AB		□ベタ基億 □布基億□場所打ち鉄筋コンクリ	<i>y</i> 0
	事監理者・エコ								んの意	4		V	押	D		使用材物	m² 以下の場合 m² 超の場合			口打込欠陥	速・順序	□かぶり厚さ					階~ 階			番~		1	(m)
	工事施工者							\setminus	SA, ARX				嫠		SD	料及び)場合 }合				口締固め						器	-				、	用材料
	1/検査機関 検査者	検 査者				\bigcap		/	その言	_			機械式継手	~D	SD390	び施工					8						者~ 階			番~ 酯	51	□独立最續) 下杭 □既製杭(PHC杭、	及び
	器					_\		_\	A A					D					130								器	軽量(· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	并	HC杭、SO	1 1
	資格	浴							葵				溶接継手	~D	SD490		格格		登録番号				ž	がせ!△ 車 Ⅱ			器	()種		番	10	SC杭、鋼管杭、	Ī
	都登録	都受録	都登録						A S 直	4			平				都登録第 都登録第		媒				j Z	工事監理者				モルタ			(金)	坑、その他	I
	継	能	継	\ \	\setminus	$\setminus \mid$		$\setminus $	$\setminus \setminus$				重ね継	D .	その他(-2	73	707	**	3 0}				4		華		())	
	卓	中	加							$ \ $	$\Big] \Big \setminus$		重ね継手(その他)	` })		中中		争	常・非	常・非	・非	砯					グラウト		階~ 階	_)	

(注意) 1 2 3 4 4					番号 打 技番 適	JIS認証番号
レイドレー アデレー アイ・アー リケシュー カイショー リスマーニ 東海 連言 コスマーニ コス 東 東 海 音 音 中 声 音 声 きょう					打込箇所 打設期間 適用期間	E番号
レディースクストコンクリート工場が複数ある場合は、工場ごとに作成する。 コンクリートの使用神材による種類を記入する。 コンクリートの使用材料・施工条件・要求告語などによる種類(通常、集中、睾中、 度、Pスコン、プレストレスト、大中、大街)を記入する。 競議度コンクリートの場合は、Fc+manの考れだれの場合の後()内に別途記入する。 技術館でコンクリートの場合は、Fc+manの考れだれの場合の後()内に別途記入する。					※2 コンクリートの種類1 ※3 コンクリートの種類2	コンクリ
ト工場が複数かる場合は、工場ごとに作成する。 を種類を記入する。 の種類を記入する。 に工条件・要求性能などによる種類(通常、寒中、、水中、水倍)を記入する。 、ドー、水倍)を記入する。 、ドーは50のそれぞれの項の値を() 内に別途記					設計基準強度 (N/mm²) 品質基準強度 (N/mm²) 呼び強度 (調合管理強度)	認証品目
暴ごとに作成する。 種類(通常、寒中、暑中、軽 (き()内に別途記入する。					強度管理材齢(日) 養生方法 判定基準強度(N/mm²)※4	仕様による条件
軽量、流動化、高流動、高強					セメントの種類 スランプ スランプフロー(cm) スランプフロー(cm)	

带中

コンクリート圧縮強度 試験回数 ※6

武縣計画

及び鉄筋試験・検査計

打込箇所

打込予定数量 (m³) 打込期間 年 月 日)

っち防災センター 実験回数※7

技番 带中

(継手種類) 鉄筋接合 箇所

継手予定数量 維手予定 年 月 日)

うち防災センター 実験回数

引張試験併用

鉄筋引張 試験回数※8

超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)

工事名称

槃

ПĴ Н #

摇

Н

1

燕

币 ₩

建築工事施工 計画報告書 囲

併

ш

ш

胀

ф

₹03

接合部の概要 使用鋼材 鉄骨加工工場 (注意) 1 更 当 $_{\forall}$ ₩ (最大板厚) (m) 主要部材形状 2 部位別 接合方法 芝 囲 鉄骨加工工場を複数使用する場合は、工場ごとに作成すること 工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容が設計図書等と整合しているか十分確認して記入するこ 往 橅 짾 詸 蕉 遌 涆 쑢 勘 SS SN STKR その他 回 鋼管(角形、 日 H 形鋼 日 トの色(一日志鑑 蒸一減 柱一梁 柱一柱 部位 Ħ 田炭) 柱梁の接合方式 # ロ プラケットタイプ # ロ ルンプラケットタイプ # ロ ルンプラケットタイプ # ロ ルイアフラム # ロ 柱通し (内・外ダイアフラム) ト ロ 楽通し での他 (大田認定等) | | | | 1 - 1鰡牡 SS SS グレード 罀 □ 溶接接合 (□ 工場 □ 現場)□ 高力ボルト接合 (□ 摩擦 □ 溶接接合 (□ 工場 □ 現場) 高力ポルト接合 (□ 摩擦 □ 引張) 溶接接合(□ 工場 □ 現場) 高力ボルト接合(□ 摩擦 □ 認定年月日 有効期限 ベースプレート ダイアフラム 代表者氏名 接合方法 柱脚形式 その街] 埋込柱脚] 根巻き柱脚] 露出柱脚 引張) 引張)

(日本産業規格A列4番)

₹01

様式2

KO3

重点管理内容				掖	镕	3 場	₩	Н				潘				×	拼	篵	à	+	Н				潘	Н	- Table	186		
		検査	> Mi		猝	≥%	H4		ガ込み	完全漆		類		検査	ЖK		穃	镕	\$₹	44		込み	完全漆		類	サンボ	開先	鋼材の	パガサル	拉
	檢 査 内		檢查	横	接管理技行							使用部位	檢 酋 内		検査	横 酋 檨	檢查責	接管理技							使用部位	・ドタブの種類と : な 使 用 部 位	の形状	鋼材の切断の方法	が成り、 ここの ガスシールドアーク サブマージアーク浴 その他(一角 一角 一角 一角 三角 三角 三角 三角
	斡	掛		麗名	術者							, ,	裕	樹		墨名	任者	術者											- ク溶接 - ク溶接	
		口外観検査	氏名		所属							鋼種		□外観検査	氏名		所属	所属							鋼種	類製タフ フラックスタブ (セ	30 M		Ú	(元出帝心》(帝)家即)
		% 口恵										最大		% □恵											最大	ラミックス	#50			
		超音波探傷検査	資格	O 者	氏名						mm	最大板厚		超音波探傷検査	資格	C ##	氏名	氏名						III III	最大板厚	フラックス)	開先の仕上方法		ロー ガスシロー その他	
		查 %		都登録 第 CIW 番号								種別		查 %		都登録 第 CIW 番号									種別		上方法		が、	十世名 参拝収
		□内質検査		华	資格							溶接材料等		□内質検査		神		資格							溶接材料等				- ク溶接 - ク溶接 - ク溶接 -)	汉 (元土谷)《谷)汉印
		%				F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	作業姿勢		%					F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	F V H O	作業姿勢					1355 1717

#× 4.	\ \ \	四東					-	默合		1					
水高価値	立会い(口)	自主検査(○) 承認(○)	9	8-3	8-2	8-1	∞	7	6	5	4	ω	2	1	坪
検さを筋温が起す	â	9	ψ				镕	4	謟	現	Ĥ	Н	煡	樂	零
受入れ検査(△)= ※ 高さが45mを趨 40mmを超える部分 ア重結セストト)	9	その他	内置	超音	外観	接船	法精	組立検査	現寸検査	仕様材料	工作図	作要	骨加	
(格	II		_	内質検査	- 波探	外観検査	溶接部の検査	寸法精度検査		徸			製作要領書	Ē	套
はなれば	Ha	樂日生		*	超音波探傷検査		福	徸	(開先形状等)		(鋼材・		,	鉄骨加工工場の決定	M
上事建って施築に	9.事一日施一	即車組工権		,	徸				形步		· 4			決定	椰
、工物に催者で食	で出り着さ	日月							(等)		ボルト等			114	9
影・溶射の工物が	八号田で○円を600。 日事掲日者・日事開題は マール 早間のでは、1	鉄骨加工工場が、社内検査を実施する項目について〇印をつける。 工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、: - 6年11月2日 - 1 - 1	_								(等)				風
に事けるのと	の事で	· 神 ·													ш
当年第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	調り	対理が													
まるない。	が金	査を行が金													鉄骨加工業者
自身を	失声	(共) (骨)													工事施工者
5 5 5 5 5 5 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	. H	日間													検査機関
の発見を表現している。	H H 基	正る場合													工事監理者
成者にある。	0 5	<u>1</u> = 0					Ηì	能在	中型	ŧН					
金銭部段を開発の	世	世ら		51	4-3	4-2	4-1	4	3-3	3-2	3-1	ω	2	1	巽
がは、水の間に、水の間に、水のに、水のに、水のに、水のに、水のに、水のに、水のに、水のに、水のに、水の	がな	かなり		4				鎔				画	建:	H	零
単作権は	A	中を		その他	内質検査	留音	外観検査	簽將	寄付	軸力	熱熱	りボ	建方検査	事現:	•
内が4	Ŧ	長さ		^	検査	超音波探傷検査	検査	溶接部の検査	締付け後検査	軸力導入試験	摩擦接合面検査	高力ボルトの検査	മ	工事現場施工計画書	衠
神仙 海山海 東山 海 山東山 東山 東山 東山 東山 東山 東山 東山 東山	1 14	, d			*	傷檢		蕉	検査	試験	面檢	の検		井	⊭
がを下を	零	費後				葅					査	蕉		画	4
7.4 (、、電影の7.5の):一部アンノルの北京疾者を行う共日で1日や1日では日本の1日 日本施工者・二事施工者が、1日を以は第二者機関に代行させて検査を実施する嫌繁的で溶接する鋼材の板厚が25m以上の部分又は高さが45m以下の機築を必要とにおいて、統令造等の工事に関する東京都取扱要綱により内質検査を必要と	工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、事後報告を一工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、事後報告を一ても記し、また、まま、「は、「は、」では、「は、「は、」、「は、「は、」、「は、「は、」、「は、「は、」、「は、」	器沿													9
かられると	1	1		_											展
国国际容易	格して	推し、													ш
だよれ、夜痘(△)= 「二月で、「麻疹リアの「下=マケノをの上来、疾患を行うがよっている。 それれ、夜痘(△)= 「1等施工手・「工事施工手をが、自ちなは第二者機関に代行させて、後료を実施する項目に△印をつける。 「高さが45mを超える種類物で溶液する餌材の板厚が55mm以上の部分又は高さが45m以下の種類物で溶液する餌材の板厚が 40mmを超える部分において、鉄青造等の工事に関する東京都取扱要綱により内質検査を必要とする場合は、受入検査としてませて、「	括して行えば良いとし	鉄骨加工工場が、社内検査を実施する項目について〇印をつける。 工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、事後報告を一括して行えば良いとし - 本年三十者													衆 骨加工業者
が対象が	延	延													工事施工者
けり食る板を	7	74.													核査機関

すべり係数試験 (リン酸塩処理摩擦面) 高力ボルト接合工事施工者名称: 高力ボルト接合工事 高力ボルト認定番 号 高力ボルトのタイ ボルトの締付方法 摩擦面の表面処理 施工管理責任者 軸力導入試験 (トルシア型高力ボルト) 重点管理内容 摩擦係数 接合方法 縮付機器 母琴(スプライスPL(フィラーPL(□有 1 試験体:□標準試験片 □ 2 摩擦面:□自然放置()□□省略:照合用標本との比較による目視確認 ロトルクコントロール独 所属 一次次次 維維 : ロトルシア形高力ボルト □摩擦接合 0.45(口治器:(□引張接合 氏名 母材(スプライスPL(フィラーPL(□トルクコントロール法 □ナット回転法 JIS B 1186 口高力六角ボルト □摩擦接合 0.45(□工事現場継手に準ずる □工事現場継手と同一)□化学処理() □ショットブラスト 資格 □引張接合 母払(スプライスPL(フィラーPL(ロナット回転法 □溶融亜鉛めっき高力ボルト□その他() 一 八 次 然 然 緒 : 緒 緒 : □摩擦接合 0.40(□引張接合

7

NO.

コンクリート工事施工結果報告書ク リートの 試験 結果

봻

試験機関名 (都登録番号)

武験期間

有・無 合・否

有・無合・否

有・無合・否

質緊痛認蓋

計画

計画 試験回数

油炭

뿌

海海

置

実施

測定検査ト又は%)

(箇所) 実施

洋細≫ (不適格と判断された NO.、

部位、内容、

対応方法とその結果 等を記入)

 $_{\rm GS}\sim$ $\frac{\mathrm{dS}}{\mathrm{dS}}$ SD ∼ SD

有・無合・否

有・無合・否 有・無 合・否

平12機告第1463号 (今第73条第 2 項) 関係 NO.			鉄筋
NO.	平1	2建告第1463号(令第73条	€第2項
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	NO.	鉄筋継手の部位	工法名
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		階柱~	
##中梁、略柱~		階柱~	
超中聚、陽柱~ 陽聚 水の街 ()		階柱~ 他(
超中聚、陽柱~陽聚 木の商() 株の南() 勝中聚、陽柱~陽聚 帰在 小陽聚 水の南() 水の南() は一条の南() は一条の南() は一条の南() 水の南() 水の南() 水の南() 水の南() 水の南() 水の南() 水道格と判 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		階柱~ 他(
超中祭、 昭在~ 陽祭 その名() ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		階柱~ 他(
《不適格箇所の詳細》 (不適格と判		6 福本~	
	× 7	、適格箇所の詳細》(不適	格と判断

SD ∼ SD

 \sim SD

SD

 $_{\sim}^{\rm SD}$

昭5	昭56建告第1102号(令第74条)	,	書告第11 0	昭46建告第110号 (令第76条)	(条)	関係
NO.	打込み箇所	打込み期間	Fc (N/mmi)	Fq (N/mn)	供試体 養生方法	判定強度
	階立上り~ 階床	\sim R				
	抗・耐圧盤・地中梁	R				
	階立上り~ 階床	\sim R				
	「 一	R				
	階立上り~ 階床	\sim R				
	杭・耐圧盤・地中梁	R				
	階立上り~ 階床	\sim R				
	杭・耐圧盤・地中梁	R				
	階立上り~ 階床	\sim R				
	杭・耐圧盤・地中梁	R				
	階立上り~ 階床	\sim R				
× ¬	《不適格箇所の詳細》 (不適格と判断された No.	適格と判断さ	れた NO.	、部位、	内容、	対応方法と

Q45	St.	14	U
%	った	ñ	尤維
§74条)構造体コンクリート(現場水中養生、現場	あった場合は、その内容の詳細を《不適格箇所	とに、試験結果の合否判定を記入すること。	った結果を対象として記入すること。
猫	쿀		

試験確認欄 (合 計)

라画

海海

學圖

実施

| 單画

米海

試験回数 (回)

:その結果 等を記入)

有・熊 合・否

有・熊 合・否 有・無合・否

打込容積 (㎡)

5 判定強度(令第76条)型わく及び支柱の取りはずし確認用(現場水中養生又は現場封かん養生試験体)の判定基準強度を記入すること。

所の詳細≫欄に記入すること。 場封かん養生、コア又は標準養生試験体)の判定基準強度を記入するこ

(日本産業規格A列4番)

様式4 ₹00 1

鉄筋維

鉄筋の径

試験・検査

不 格 語 路 語

有·熊 合· 否

有・無合・否 有・無合・否

9 第 正事施工結果報告 武 験 ・ 検 査 群 账 燕 ΠĤ

○全体	確認項目	* * *	令3章8 令79 法37	確認内容 響中の淡は法令規定事項である重要確認項目を示す。 節 a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認 b) かぶり厚さの循環 c) 鉄筋の材質(JIS規格)の確認
±(0)	大本 岩龍 (紫帯ぐい(紫)	* *	法37 令38	d) コンクリートの村質(JIS規格)の確認 a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認 h) くいの支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認
凝阱・脾			告1113	
	くい、地館改良等の種類、	*	令38 令73	。)場所打ちくいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭 処理、継手、主筋径・数、かぶり、偏心による補強等の 確認
	で(実)と林ぐで(本)みさがだって人)		告1347 告1113	d) PCくいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭処理 継手、偏心による補強等の確認 e) 鋼管 くいの材料、工法、長さ、径、位置、くい頭を 細 継手 信パロトス補油等の連想
	田境という。			理、様子、 値心による無速等の構成 打) 連続地中壁の材料、工法、 長さ、径、 位置、 ・連絡地中壁の材料、工法、 長さ、径、 ・連絡地・電心による補強等の確認 g) 評価工法等のくいの材料、工法、長さ、径、 ・対処処理、 維手、主筋径・数、かぶり、偏心に 毎の移習。
				b) くい施工中の水の状況i) 偏心の状況(施工誤差許容値内、補強の要否 否・要・溶)j) 地盤改良の材料、工法、径、長さ、位置、直
	基礎の種類	*	☆ 38	1) フーチングの種類、部材寸法、主筋の径、本数() 置、ピッチ、定着等の確認(参考・配筋指針(基礎) 置、ピッチ、定着等の確認(参考・配筋指針(基礎) しょう マーチ (本数 () できまる () できなん () できまる () できまる () でなる () できまる () できまる () できまる ()
	配筋	>	令73 告1347	ピッチ、定着等の確認(参考: 配所指針・「基礎」等) n) 連続基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位 ピッチ、定着等の確認(参考: 配所指針・「基礎」等) ピッチ、定着等の確認(参考: 配所指針・「基礎」等) ピッチ、定着等の確認(参考: 配所指針・「基礎」等)
	地中ばり	*	令38 令73 令78 告1347	p) 地中はりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、維手(位置、長さ)、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強、質遇石の位置及で補強(評定品の仕様確認)等の確認(参考:配筋指針「基礎」等)
	マスコンクリート	× ×	令74 令75	q) 打設計画、コンクリートの温度、気温、養生、コン リートの状態の確認、補修等(参考: JASS5「鉄筋間隔 あきの最小寸法」等) 和 電出現社回 コ 電出現社に対
	柱脚	*	令66 告1456	r) 露出型柱脚 アンカーボルトの配置、定着長さ、形状、断面積、ナッ アンカーボルトの配置、定着長さ、形状、断面積、ナットの戻り止め、ベースプレートの板厚、孔径、線端距離等 財務者型 提絡き部分の高さ、RC柱主筋の本数、形状、帯筋 t) 超込み型 埋込み部分の深さ、関柱等の補強筋、飲骨のかぶり厚さ
····	一般階主筋	* *	令77 令77	a) 柱寸法、主筋の径、本数、配置(方向)、偏心による補 頻等の確認(参考:配所指針「基礎はり」等) b) 2股筋の位置(開陽)の確認(参考:JASS5「鉄筋間隔・あ きの最小寸法、等)
_	最上階主筋	* *		See .
	- 神人婦人神	*	令73	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認(参 「柱脚(最下限)の配館」等)

-		小の名	(3)				☆						V, VI	и (ii)									5 ₩€)	_					
特殊鉄筋継手	1	ガス圧接継手		185年8万 寺		定者・重ね継 手	壁筋		補強筋等			定着、重ね継手		スラブ筋	小ばり	片持ちばり		が	打増し、貫通			定着・継手	Š	子 15 十 第				帶筋		产省 • 蒸十
	*	*		* *				* >	*	*	*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*		· *		*	*	*	*
Ì	令73	令73 告1463		令3章8節	令78の2	令73 令78の2	令78の2	令3章8節	から	令73 令77の2	令73 令77の2	令73 令77の2	令77の2	令77の2	令73 令78	令73 令78	令78	☆78	令3章8節	令78 令73 令78	令78 令73	令73	令78	令77	第77	令77	令77	令77	令3章8節	ਰ ਹ
d) 認定、評定工法の仕様及び継手性能の確認	c) 圧接部の検査(引張試験、超音波探傷試験等)の検査簡 所、検査率、合格率等の確認(参考:JASS5「ガス圧接継 手」等)	b) 圧接部の長さ及び膨らみの直径、圧接面のずれ、鉄筋 中心軸の偏心量の確認		の 第二種類配防備総(参考:配防相評・城間工権域」等)	(*) 単人は際十つ八世目で区でいた時後へ参与、JASSOX人の日出初日 会十、監備の総手の位置と参加を ・ 1 監備の総手の位置と参加を ・ 2 により、1	C	ピッチ、位置	3配筋と補強筋確認(参考:配筋指針「階	~~~	継手の位置と長さ(参考:配筋指針「床ス: 置」等)	d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保(先端壁有無)(参 考:配筋指針「片持スラブ」等)	東	b) 主筋配置(短辺・長辺とベント配筋)の確認(参考: 配筋 指針「床スラブ」等)	a) スラブ厚さの支持条件、寸法、鉄筋のピッチと径の確認	」)小はり配筋の位置と定着確認(参考:配筋指針「小はり の端部・中央部の配筋」「定着」等)	1) 片特ばり主筋の定着、あばら筋位置確認(参考:配筋指針)針「片持ちばりの配筋」等)	あばら筋のフック形状、結束の確認(参 「あばら筋の形状」等)	× 100	f) 打増しの補強方法が適切か、貫通孔の位置及び補強の 確認(延売具の仕様確認)(参考・配益指針「柱・参の打	の位置」「鉄筋の重ね継手の長さ」等) e) はり筋出隅部の鉄筋端部のフック確認		筋の定着長さ、位置確認	中吊り筋の間隔の確保、長されの間隔・あきの最小寸法」及び、中部の配解、等)	1) 年間のシンツ 人は4年夜の70年代、在来の7階級(参与・民活用) 指針「井梯の70一段形状)。第) 3) 1十四暦(祖子荘・1十四十年の86) 木製 757代/開の確認		仕口部分の帯筋の配置確認(参考:配筋指針「 筋間隔について」等)	1) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認(参考:配筋指針) 計に対して、 対には、 対には、 対には、 対には、 対には、 対には、 対には、 対には		g) 打増しの大きさによる配筋補強確認(参考:配筋指針 「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」等)	6. 土地の作士に属及り取るの権跡(参布:Jasso 土地のの

9

いては、工事 Z入例 A+E、)が国族権感したもの工事等の重要項目については「+E」(記	からEまでの確認方法を参考に記入する。また、配筋 れている場合で、その構造担当者が直接確認したもの	回: 1 1 1 1 1 1 1	日事担と担補当記	E: 上中国年4 保返担当: 云吐石 工事監理者及び工事施工者が、Az 監理組織欄に構造担当者が記載さ B+E、B+C+E) と記入する。		
	50 見たもの 12雑報 1 キュー	』試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認 いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工3 によ	7.用いて軒2.『機器や用!	器検型	C: 工場等で検査機 D: 第三者機関等が F: 十市界組表/構		
		意)確認方法 A:工事現場で目視又は計測機器により直接確認したもの B:報告書により確認したもの	t計測機器()たもの	又認	意)確認方法A: 工事現場で目視又は計測機B: 報告書により確認したもの	(注意) A: B:	
		建築物に設けるものに限る。)	告1389				
			告1388				
		ab)昇降機以外の建築設備の構造方法	03		造強度の確認		
		aa)昇降機の構造方法	令129の2	*	建築設備の構		
		y)特定天井の構造方法の確認	告771				
		の確認	告109		の緊結の確認		
		x) 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の構造方法	令39	*	屋根ふき材等		
		w) プレストレスト導入張力の確認					
		v) プレストレスト導入時のPC強度の確認					
		示1320号)			材料等の確認		
		u) プレストレストコンクリートの緊張材料強度の確認(告			トの定着及び		
		面のモルタル強度等(告示1320号)	#		トコンクリー		
		t) プレストレストコンクリートの定着方法の確認、圧着	令80の2	*	プレストレス		
		の久陥の有無				_	_
		s) 建方後の部材についての構造上支障のあるひび割れ等 でな時の主無					
		r) 製品検査結果(寸法精度、打ち込み欠陥等)					
		n)鉄筋の配筋確認					
		(律			度確認等		
		m) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考: JASS5	令3章6節		PCaの品質・強		
		1) 位置及び間隔の確認	令36の4	*	EXP. Jの確認		
			令74				
		k) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考: IASS5	令72	*			
			⇒ 76				
		(第一十条 1921 - 子本) 中乗の教徒は4 一 1 4 7 7 ()	△ 75			_	_
		₹柱存置期間	令76				
		h)基礎、柱、はり、床板、壁の躯体寸法の確認	令3章8節	*			
			告1372				
		8/ / ハンダ流角、光圧を代記録は電影電影(から・7m20) 「不具合とその修興方法の例 箏)	令79		1		
			△27	*	審製 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
		17 出主父の名言の話言の、記言文字重度(学は・31222)「財務の権権」組)	\$ 70 1 70		大野路 化 关 活		
		5)用抗压水计量分额44) 海南中省游戏水水,TACCC	A 27	«	刑协员 水甲方		
		e) 緊圧、評定品以外の場合のモンタン、クフワト的又は トルク権数	音1463	*			
			4			4	_

7 7	接合高力ボル	*		こ紅猫	-	展			温哨	>				 	本	# K	9 =	按自	禘			-			対 集	東田窟		施		
軸力	4 2 4	幣果	拔	П	衠	果理		Ī	生力油	邮	処理内容 不良箇所の	の内容 不良箇所	账	直	栋	中压	指斥	##	П	真皿	検査	版	AM AM			a / 2,		- 哲円	衆卓	
導入試	すべり係数試験べり 恵力 試験	結果の判定及び処置	取り方言	ット構り	查 方	手順管理	ン人国道以	手順管理方法	入熱量管理値	溶接材料 2 四油 申集曲編				VT UT	検査対象 箇所数	完全溶込み	すみ肉	抜取り方法	ット構成	完全溶込み	すみ肉	受入検査機関の 検査員	受入検査機関名		(mm)	鋼 材 種 (最大板厚)	浴接管埋技術者		所在は	名称
後 結果の料		[III]E	-	皮口各館	法 口硬さ試験				Ē	H/H	_			VT	検査ロッ	初回抜取り率ロット許容不	初回抜取り率 ロット許容不	□JASS6の方法	□各節ご	□外観検 □超音波	□外観検査(VT)	氏名				80	術者	種別	B	
験 結果の判定及び処置	結果の判定及び処置		トゴと一種	□各節ごと □製作部位(柱薬											ロット数	回抜取り率 VT(ット許容不良率 VT(初回抜取り率 VT(ロット許容不良率 VT(の方法 口ロッ	口各節ごと 口製作部位(柱梁仕口接合部、柱接合部、 口ロットの大きさ300個以下 口ロットの大きさ(□外観検査(VT):□表面欠陥検査 □超音波探傷検査(UT)	酢 (VT)		都图	不の衙	STKR	WS SS	八名	認定番号		
置 : 口合	置: 口合		·無()%	□製作部位(柱梁仕□接合部、柱接合部、 たきよ300個U下 □ロットのナきよ(□不可逆性の示温塗料塗布 □その他									VT	初回抜取り検査	<u>~</u>	· · · · ·	コットごと一律(部位 (柱梁 00個以下]表面欠陥)T)		資格	都登録 第	· · ·		į	拼			
出口	阳口口		ロロット	楽什口抜る	整体 哪里									UT	り検査)%以上 UT()%以下 UT()%以下 1从%(仕口接合言 口ロットの				号			() SS	資格			
			ブと一等(計部、柱板	布 口その									1 1	包)%以上 土′亿%()% □□ッ	邪、柱接合 の大きさ(口溶接部の寸法			CIW認定番号	裕	Aの の 合	N S		種別		
					舍									UT IU	亦	⇒		ットごとー		: □外観形状			継	掖	_	:	彩		7	
			しんの街	その他)ごと										VT UT	追加検査 検査ロット数			·律()個	その他)ごと 個)以下	多状 口その他			車					有効期限	代表者氏名	
														VT	一	1		口その他) II					/ / / / / /	1775	.As	, AII		
軸 力 導 入 試 験 結果の判定及び処置 : □合 □否															最終検査結果 ロット数 再検査)					7	. i	その街			

変入検査機関名 表名 都整験第 号 CIN認定番号第 号 6 すみ肉 □外観検査(VT) □外観検査(VT) □人観検査(VT) □と衛送との個別では採掘の対法 □水の大き (M検査 □溶技部の寸法 □外観形状 □その他)ごと □を指定と □製作部位(非架仕口接合部、柱接合部、その他)ごと 製作部位(非実仕口接合部、柱接合部、その他)ごと 個)以下 6 すみ肉 □の名前ごと □製作部位(非実仕口接合部、柱接合部、その他)ごと 個)以下 セット財会不良率 VT()%以上 UT()%以上 UT()%以上 UT()%以上 UT()%以下 □のトウ大き (M表在の) (M表在) (M表	(2)人検査受託検査 機関の検査員 (2)人機変を託検査 (3)	(大)検査受託検査 (株理の検査員 (株理の検査員 (大)検査受託検査 (大)検査受託検査 (大)検査受託検査 (大) (大規模査(TT): □表面次倫検査 □溶技術、柱接合部、その他)ごと (四のトラ大きさ900周以下 ロットの大きさ(何)以下 (回のお政り率 VT()%以上 ロットの大きさ(何)以下 (の)以下 ロットの大きさ(何)以下 (の)以下 ロットの大きさ(何)以下 (の)以下 ロットの大きさ(何)以下 (の)以下 ロットが表示し事(1)%以上 ロット部名不良率 VT()%以上 ロット部名不良率 VT()%以上 ロット部名不良率 VT()%以下 UT(計	>	:相	乙賀格	-		状況	会管理	三道 "	・パス	人熱			検査	\succ	þ	e di	接部	ራ					
 (2名 資格 (24) 資格 (24) (24) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25	一	株主機関名		結果			檢					万法	管理			踏账	検査	;	事項	指定	121		三年	検査	受人機	AN AN
 (2名 資格 (24) 資格 (24) (24) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25) (25	一	原名 原名 原本 原本 原本 原本 原本 原本		の判定及び処	9 方	ト構		手順管理	入熱量	パス間温度	手順管理方法	入熱量管理値	パス間温度管	溶接材料			箇所巻	検査対象	完全溶込み	すみ肉	坂取り方法	テ	完全溶込み	すみ肉	検査受託検査 関の検査員	\檢查機関名
資格	資格 (本) (社 () () () () () () () () ()	資格 資格 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		圃									理値				+		初回ま	初回もロッ	□Jas	口俗(□外舗□超音	□外舗	氏名	
資格	資格 (本) (社 () () () () () () () () ()	資格 資格 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			ツナば	§節ごと □ コットの大:	更さ試験 口										٧.		友取り率 ' ト許容不良	友取り率 、 ト許容不良:		節ごと 口襲 ソトの大き	接查 (VT) - 波探傷検査	l検査 (VT)		
	外観形状 □その他 (外観形状 □その他(その他)ごと			- 一音(]製作部位 き さ300個]不可逆性										-	初回	_		ダブ	製作部位 (オ さ300個以	: 口表面久 톤(UT)		河	
	外観形状 □その他 (外観形状 ロその他(その他)ごと)% □□	: (柱梁仕口 以下 口口	の示温塗									2	 	抜取り検査	73 年 73 年 74 年 76 日 77 日 78 日 78 日 78 日 78 日 78 日 78 日 78	>	(~	主梁仕口接、下 ロロッ			落	
	外観形状 □その他 (外観形状 口その他(その他)ごと			ットバと一番	接合部、柱	∮塗布 □その									:			UT()%			合部、柱接r トの大きさ]溶接部の寸			
P P P P P P P P P P	ル の				J	() () () () () () () () () ()	つ街									21	Ħ		: 以下		ر ارز					
		□ (() () () () () () () () ()			口その街	その他) ごと 個) 以下												追加検査			_	0色) ごと 個)以下	形状 口その			卓

							点	41	+	関	垂		貓		=					(吳州8	に対する確認	おける作業の確認よ	土場によ	4年1日下 書番を	(@~@;		
								퍉	依接合	2 篠							7	二全体	(D)	のから	(A) (型架板				①加 注2		辭
	· 涉	④工事現場落 蒸 娯 の X		③工事現場溶 接部分の製 品検査	②工事現場溶 接部分の組 立精度 注4		表 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	田川場溶接部分の外舗・			⑦柱の防火被 覆	⑥圧縮杉	⑤建て方精度	④ 蛯 材 の 斗 法・形状	③部材の配置	II.	②指定建築村	①加工工場の 類別	⑥製品検査2 (溶接接合部の検 査)	⑤高力ポルト接合部 の処理	①製品検査1 (鉄骨部材の寸法精 度測定)	③組立精度の確認		②鋼材の規格品質確	工工場の選定	ž	数当日
*	*	*	*			*	*	*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*			*	*	*	JPRI	蘊
令67 告1464	令67 告1464	令92 98	令3章8節	令67 告1464	令67 告1464	令67 告1464	令67 告1464	令67 告1464	令67 告1464	令92 98	令70	令65		令3章8節	令69 令3章8節	令67 告1464	法37	規則1条の3	令67 告1464	令67 告1464		令67 告1464	令67	法37	規則1条の3		日の※は※4
d)突合せ継手の食違い	c) ダイアフラムとフランジのず れ	b) 溶接継ぎ目の種類 (突合せ溶接・すみ肉溶接)	a) 工事現場溶接部の部位(確認 図書との照合)	外観検査及び超音波探傷検査結果(参考: JASS6付則6鉄骨精度 機査基準、UT基準) 注6	関先角度、ルート面、ルートギャップ、食違い等組み立て時の 鉄骨の精度	e) われ	d) アンダーカット	c) 突合せ継手の食違い	b) ダイアフラムとフランジの ずれ	a) 溶接継ぎ目の種類(突合せ溶 接・すみ肉溶接)	一の柱のみの火熱による耐力の 低下に関する確認	圧縮材の有効細長比の確認	架構の建て方精度(参考: JASS6 付則6鉄骨精度檢查基準)	柱、はり、ブレース、ダイアフラム、床版等の寸法・形状(確認図書との照合)	柱、はり、ブレース、床版等の 配置(確認図書との照合)	b) 溶接材料の規格と鋼材の組 み合わせの適否	a) 鋼材等の品質規格証明書と 現物の照合	表示板又は認定書による加工工 場の類別グレード確認	外観検査及び超音波探傷検査の 結果確認 (参考:JASS6付則6鉄骨精度検 査基準UT基準)注6	高力ボルト接合部の摩擦接合面 の処理、ボルト孔の径ピッチ・ 緑端距離等	鉄骨部材の寸法精度 (参考: JASS6付則6鉄骨精度検査基準)	開先角度、ルート面、ルートボ オップ、食違い等組み立て時の 鉄骨の精度	b) 溶接材料の規格と鋼材の組 み合わせの適否	a) 鋼材、高力ボルトセットの 規格品質の確認	建築物の規模等認定の条件に見合った生産能力の有無、溶接部の受入検査率の確認	第十2次は7年が17年以189里秋電影気ロ18年以189里秋電影気ロ18	
																										進1 確認方法	溶接管理 技術者
																										^{注1} 確認方法	第三者検査 機関
																										進1 確認方法	工事施工者
																										准1 確認方法	工事監理者
																											金光

6									-							讯	======================================	悪の難	医野	許の	47							ァ そ:	 α高力ボ			
床 4 フラ 接合部			④埋込み形式					③ 根巻き形式			②韓出形式 既製品				在	○ 線王 黒 共 大 土				井	アース接合部		世盤めらい イスト)	②両力六角ボルト、不気を				○ トラッア馬 点がボラマ				
*	*		*	*	*		*	*	*	*	*		*	*	*	*	*	*	*			*	*	*	*	*	*	*	*		*	*
令3章8節	令3章8節 令80の2		令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456		帝bb 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456		令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66 告1456	令66	令3章8節	令92の2	令67 令68 告1464	守6/ 令92の2 告1464	令92の2 告1464 告2466	令92の2	令67 令68 告1464	令67 令92の2 告1464	令92の2 告1464		令67 告1464	令67 告1464
(b)シャーコネクター(頭付きスタッド等)の施工状況・検査 結果の確認	床構造の形式 (合成スラブ・	d) スタッドボルトの径・本数・ 配置・溶接状況の確認	c) 埋込部分の鉄骨のかぶり厚さ の確認	b)側柱・隅柱のU字型補強筋等 による補強の確認	a)柱の埋込長さの確認	e) スタッドボルトの径・本数・ 配置・溶接状況の確認	d)根巻き部分の帯筋 (令77②③)	c) 立ち上がり主筋の定署長さ (根巻き部分・基礎)の確認	り、徐舎さ部分の立ち上がり土所り、朱舎さ部分の立ち上がり、王所の木数及びその頂部のかぎ状架構の確認	a)根巻き部分の高さの確認	評定内容に適合しているかの確 認	h) アンカーボルトの締め付け状 況の確認	g) アンカーボルトの径・孔径・ 縁端距離の確認	f)ベースプレートの厚さの確認	e)柱の最下端の断面積に対する アンカーボルト全断面積の割 合の確認	d)アンカーボルトの定看長さの 確認	c) 座金の使用、ナットの戻り止 め措置の確認	b)アンカーボルトの均等な配置 の確認	a) アンカーボルトの材質・径・ 本数とナットの高さの確認	柱脚接合工法と仕様の確認(確 認図書との照合)	プレース接合部の形式・板厚・ 材質・補剛材等の確認	の	c) ボルトの径、孔径、中心距 離、縁端距離の確認	b) ボルトの本数、スプライス 数、摩擦接合面の確認	a)締め付け機器の調整、工事現場受入検査(導入張力確認試験)の実施状況の確認	が続くは状態の確認(肌する・パンドーラ後野・ケーキング の状態の確認)	c)ボルトの径、孔径、中心距離、終端距離の確認	b)ボルトの本数、スプライス 数、摩擦接合面の確認	a)工事現場受入検査(トルク係 数値確認導入張力確認試験) 実施状況及び保管状況の確認	g)その他の溶接部の外観形状 (参考: JASS6付則6鉄骨精度 検査基準)	f)われ・内部欠陥等	e) アンダーカット

1 確認の方法 7 帳壁等の接合部

緊結金物の取り付け状況の確認

A:工事現場で目視又は検査機器により確認したもの
B:報告書により確認したもの
C:工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの
C:工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの
C:工場監理者(構造相当:全社名
「事監理者(構造相当:会社名
「事監理者(表社のというでは、現別が戦力を参考に記入する。大名
「工事監理者及び工事権工者が約からほぎでの確認方法を参考に記入する。大名。配所工事等の重要項目については、工事監理組織図に記載されている構造相当者が直接確認したものは、「十日」(記入例 A+R、B+E、C+D と記入する。
2 飲骨加工工場については、規則第1条の3に基づく大臣認定制度がある。図書省略をしない場合は、大臣認定工場の指定はない。3 当該工事の構造計力上主要な部分の接合に工事現場を接て用いる場合のみ記入する。以下の③及び④も同様
5 当該工事で構造計力上主要な部分の接合に工事現場を接て用いる場合のみ記入する。以下の③及び④も同様
5 当該工事で構造計力上主要な部分の接合に工事現場を接を用いる場合のお記入する。以下の③及び④も同様
5 当該工事で構造計力上主要な部分の接合に工事現場を接て用いる場合のお言とない。

(日本産業規格A列4番)

様式6

1 日	住①	100 10	一日	**** 4\Q\pm\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				芥(枠組 脚	*								※	日常書	木材					
開放	##値	開企 教権 日 現場部長分割料 日	開企	双元の年で成りらりた 劇種 には、①原行工、②Hem-Tam、③Hem-Fit、④SPF/Spruce-Pine-Fit、⑤ 女性 の目指導級区分類だ、機変導級区分類がは数当するものをつて囲む。 の分/線像。は、振当するものをつて囲み、()やには183歳を含配入する。 小手担対・1にす、1の1 106~206~206~206~206~207~207~207~207~207~207~207~207~207~207	H H++50×H	H ‡					部位	(国林②	面材①	その信③	その他②	その街®	横架材③	横架材②	横架材①	住③	(#2)	(#) (H)	中中	wist
##価 対称	##種	##値	##編 日東京新区分類科 日東第三級 3級 有・無 日東京新区分類科 (東北海政区) 200 (東北海政	DFir-L 2Hen-	¥ × ×						樹種)	_))))	_)	٥	J		部位
### 1	世界の表別の分類が 日本の表別の方面が 日本の表別の表別の方面が 日本の表別の方面が 日本の表別の表別の方面が 日本の表別の表別の方面が 日本の表別の方面が 日本の表の表別の方面が 日本の表別の表別の方面が 日本の表別の方面が 日本の表別の方面が	日刊等級区分製料 日刊	日共等級区分別村 日共等級区分別村 日本等級区分別村 日本 日本等級区分別村 日本 日本等級区分別村 日本等級区分別村 日本 日本等級区分別村 日本 日本等級区分別村 日本 日本等級区分別村 日本 日本		A種·B種 構造	目視等級区分類機械等級区分類	目視等級区分類機械等級区分類	目視等級区分類機械等級区分類	目視等級区分類機械等級区分類	目視等級区分類機械等級区分類	*													樹種
# 1	1	日本	日本	用単板積層材		華 及		集成材	集成材	構成集成材		(A種・B種 構造	A種・B種 構造	目視等級区分数 機械等級区分数 ()構成	田視等級区分数 機械等級区分数	国視等級区分数 機械等級区分数	田視等級区分享 機械等級区分享	目視等級区分集 機械等級区分集	国視等級区分数 機械等級区分数	目視等級区分数 機械等級区分数 化粧ばり構造用	目視等級区分数 機械等級区分数 化粧ば5構造用	目視等級区分数 機械等級区分数 化粧ば5構造用	目視等級区分数 機械等級区分数	
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	E()	# 1	大田	E() F(E() F(E() F() F() F() F()	E(**)** - F(甲種 / 特級・1)* - F(甲種 / 特級・1)* たて枠用たて維きたて雑様を (田猫 / 精彩・13	子笛 / お表・17 乙権 / コンストラク 古人存用たて禁されて存用がて業さ	平価 / 特談・13 乙価 / コンストラル たて存用たて継ぎ MSR 単微 / (E() - F(甲種 / 特級・13 乙種 / コンストラク さて枠用たて継き が、日本 () () () () () () () () () (中種 / 特級・IJ 乙種 / コンストラク たて枠用たて継ぎ MSR等級 / (E() - F(合板 用単板積層材	合板 用単板積層材	集成材	製材 製材 無成材	2.材 2.材)構成集成材	構成	構成	(式) (技) 構成集成技	2.材 2.材 集成柱)構成集成材	"技 "技 集成柱)構成集成材	"社 "社 無成柱)権成集成社	製材 製材)構成集成材	材料
	(「	(国分/等級 秀宝 (国分/等級 有・無 (日				W 2/W 0/W ジョン・スタンタート・・・ ジオ) Fb - () I))	級・2級・3級 ジョン・スタンダード・・ ジオ)Fb - ())	級・2級・3級 ション・スタンダード・・ (木材)Fb - ()I	数・2数・3数 ション・スタンダード・・ (村) Fb - () J	区分/等級	1後·2後 / ()E / ()V -	•2級)E /)V -	ハ〜〜	とうう種	乙()	四〜〜	種・乙種	種·乙種) - 種	種・乙種)) -	20 (無	乙(())	200年	

			使 用 材 料	(金物)		
2マーク金物名又は認定番号	又は認定番号	規格・製品名	部位	2マーク金物名又は認定番号	規格・製品名	*
ボールダウン会物	***		終	かすがい		
在 関 が へ 食物			前・深・んの有	手煙いかすかい 筋かいプレート		群 部 彩 彩
Lev I			彩			
会 ウな打り会物 ひなり会物			前・深・小の街			
Text			柱・梁・その他			
- ~			※			_
ヴァ州を			質 将	かまりをまる	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
超 目形ノフーマ			在・米・人の有	一一日内別部	無認凶者からの変更の信託	爿
出土板パイプ			彩彩.			
火打金物 アンカーボルト			神・楽・その街			
			造 確 認	項目 報告		
確認項目			±1	確認内容		正事施工者 確認方法
1 全体・共涌事項	法37	a) 木材の材質	木材の材質 (JAS規格等) の確認			
	法37, 令42		鋼材 (アンカーボルト等) の材質、	形状、寸法、配置、定着、	緊結状況の確認	
	令49	万族	展措置の確認	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	令3章8節	d) 柱、横架材、	柱、横架材、筋かい、土台等の位置の確認 末せの提着「区分」年終。 ボキー 十半の確	立間の確認		
	令3章8節		規格、品質、形状、			
	令3章8節					
2 在来工法・木造	令41	a) 構造耐力上三	構造耐力上主要な部分の木材の、	節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等の確認	確認	
大断面	令42,28告690	b) 十七と黒癬の 十七が弱さき	土台と描稿の緊結方法(ボールダウン食物の品質、土台を増与さい高令子(ボールダウン食物の品質、土台を増与さい高令子(ボー丼類の緊結す)、田	質、形状、小法、	位置)の確認	
	☆43	c) 柱の欠込みâ	柱の欠込み部及び通し柱に代わる管柱の補強の確認	3		
ı	令44	d) 横架材に構造	当耐力上支障のある 2	横架材に構造耐力上支障のある欠込みの無いことの確認		
	♦45		筋かい等の欠込み部の補強の確認	581		
	〒46, 28 H	ま) 火むで名の設画状況、	火土っちの改画状況、型米の編版 小耶館の歩ぎ 十半 緊結七半の痛器	の確認		
	∯46			が細状は徐の確認		
	令46,28告691		15枚、飯45円855歳、胴差との取り合い	小風雨の火10名、痰44円の80段画や名字の電影 保根大、床梁、胴巻との取り合い及び床下地の取り付けの確認		
	令46,56告1100	j) 構造用合板の	構造用合板の緊結に使用するくぎの種類、	ぎの種類、ピッチ等の確認		
	令47,12告1460	k) 柱(通し柱、 の確認	管柱)と横架材(梁、	管柱)と横架材(梁、桁)の緊結方法(Zマーク表示金物等の仕様)	等の仕様)	
	令47,12告1460	1) 筋かいの緊綿	吉方法 (2マーク表示会	筋かいの緊結方法(Zマーク表示金物等の仕様)の確認		
	令47,12告1460	m) 柱(通し柱、	管柱)と土台との緊結方法(Zマー	吉方法(2マーク表示金物等の仕様)の確認	り確認	
	令3章8節	n) 柱(通し柱、 板) 床下掛	管柱)、間柱、横架を 限料部材の種類、品	管柱)、間柱、衡架材(梁、斧)、土台、筋がい、、耐力蟹(構造用合限は事材が分離類 品質 形状 斗洪・位置の確認	(構造用合	
3 枠組壁工法		a) 構造耐力上。	/要な部分に使用する	■材の品質、☆	悶	
	! :		要な部分に使用する床	構造耐力上必要な部分に使用する床材、壁材及び屋根下地材の品質及び寸法の確認	去の確認	
	半成13年古示 第1540号,第	d) 十台、床根7	2. 紫花部分に使用する	構造肥力工必要は部分に使用する到及でネシの品質及で1 弦の構成 中台、床根太、端根太及び御根太の品質、寸法及び配置の確認		
			目互及び床の枠組と∶	床の各部材相互及び床の枠組と土台又は頭つなぎとの緊結の確認		
			目互及び壁と床、頭∼	壁の各部材相互及び壁と床、頭つなぎ又はまぐさ受けとの緊結の確認	略	
			†相互及び小屋組の音 ・十 半 21 角(小屋組各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎ又は屋根下地との緊結の確認 十 準句 ハトナ 準 17 星 / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	結の確認	
4 混構造		游:	・ と	14) 東方の国の及りもこの義務(及立方	S CHXIV J	
(注意)確認方法 /	A: 工事現場で目視又は検査 B: 磐告により確認したもの	A: 工事現場で目視又は検査機器により確認したもの B: 報告により確認したもの	より確認したもの			
- 0	C: 円揚等な検査D: 第二者機関等	C:工場等で検査機器を用いて計測試験し、 D:領三者機器等が検査機器を用いて計劃試験し、	式聚し、その結果や.で手道試器し、その結果や.	工場等の液査機器や用いて計測試験し、その結果を工事配理者又は工事施工者が確認したもの 領三者機関線が結合構器を用いて計測試験し、その結果を工事配理者又は工事施工者が確認したもの	たもの 編製したもの	0
	E: 川事覧選者(韓治担当:		民名)が直接確認したもの
	□事監理者及びI □下営業セセ <i>ト</i> □	. 単摘日者がAからI 、→ 4当台 エルバヨ	工事監理者及び工事施工者がAからEまでの確認方法を参考に記入する。 同じ哲典メンアンを確当は米東派声級発記しまえらは「「『『記』回	; j+	配筋工事等の重要項目については、工事監理組織	ついては、
	さい 世帯 れさいし	TO A THE TAX PROPERTY AND A PARTY AND A PA	THE REAL PROPERTY.	The same and the s		

害物質の種類

鉛及びその化合物

規則第三十一条第二項の基準に適合していない特定有

13

様式六の二から様式十一までを削る。 附 則

令和七年四月一日から施行する。

この告示は、

●東京都告示第八百六十九号

ればならない区域(以下 土壤汚染対策法 項の規定により、 土地の形質の変更をしようとするときの届出をしなけ (平成十四年法律第五十三号) 特定有害物質によって汚染されてお 「形質変更時要届出区域」 第十一条

とい

ŋ 第

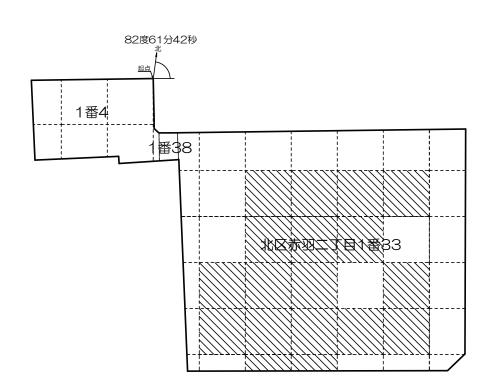
第六条第二項の規定により、 令和六年八月五日 を指定するので、 同条第三項において準用する同法 次のとおり告示する。

東京都知事 小 池 百 合 子

1地内) 形質変更時要届出区域 別図のとおり (北区赤羽 亍

九号。 に適合していない特定有害物質の種類 びに砒素及びその化合物 土壤汚染対策法施行規則 以下「規則」という。 伞 第三十一条第一項の基準 -成十四年環境省令第二十 クロロエチレン

別図



【起点】

起点は、北区赤羽二丁目1番4の最北端とする。

【格子の回転角度(82度61分42秒)】

格子の回転角度は、起点を通り、東西方向及び南北方向に引 いた線並びにこれらと平行して10m間隔で引いた線により 構成されている格子を、起点を中心として、右回りに回転さ せた角度を示す。

	凡	例
	敷地境界	
	筆境界	
	単位区画	
\square	形質変更時	要届出区域

九号。以下「規則」という。

適合していない特定有害物質の種類

土壤汚染対策法施行規則

(平成十四年環境省令第二十)第三十一条第一項の基準

害物質の種類

鉛及びその化合物

素及びその化合物

鉛及びその化合物、

砒素及びその化合物並びにふっ

六価クロム化合

規則第三十一条第二項の基準に適合していない特定有

三丁目地内)

形質変更時要届出区域

別図のとおり

(墨田区東向島

●東京都告示第八百七十号 壤汚染対策法

第一 第六条第二項の規定により、 ればならない区域 項の規定により、 土地の形質の変更をしようとするときの届出をしなけ を指定するので、 (平成十四年法律第五十三号) 。 以 下 特定有害物質によって汚染されてお 同条第三項において準用する同法 「形質変更時要届出区域」 次のとおり告示する。

とい

令和六年八月五日 東京都知事 小 池 百

合 子

別図

第十一条

13度9分32秒 起点 团核東南島三丁目221番1

【凡例】-形質変更時要届出区域 単位区画 - 敷地境界

- 【起点】·

起点は、墨田区東向島三丁目221番1の最北端とする。

【格子の回転角度(13度9分32秒)】 ―

格子の回転角度は、起点を通り、東西方向及び南北方向に引いた線並びに これらと平行して10m間隔で引いた線により構成されている格子を、起点を 中心として、右回りに回転させた角度を示す。

兀

講じられた汚染の除去等の措置

土壌汚染の除去

定有害物質の

種類

鉛及びその化合物

規則第三十一

条第一

項

の基準に適合してい

なかった特

15

土壤汚染対策法(平成十四●東京都告示第八百七十一旦

域 号及び令和六年東京都告示第二百十九号により指定した区 る同 0 項 壌 令和六年八月五日 ·法第六条第一 部 の規定により、 污染対策法 の指定を解除するので、 一項の規定により、 平 成十 令和五年東京都告示第千一 四 年法律第五十 同条第三項において準用 次のとおり告示する。 二 号 百 第 + 士 条 Ŧī.

その化合物、 に適合していなかった特定有害物質の種 土壤汚染対策法施 以下 「規則」という。 鉛及びその化合物並びにほう素及びその 行規 則 室 第二 成 Ŧ 十一 四年環境省令第 条第 類 セレ 項の 及び 基準 化

> 別図 Y座標 地点名 X座標 Y座標 地点名 X座標 起点1 -38309.847 -8600.965 起点10 -38431.175 -8619.712 起点2 -38323.459 -8630.231 起点11 -38426.862 -8583.157 起点3 -38322.475 -8611.835 起点12 -38421.197 -8600 650 起点4 -38322.992 -8605.917 起点13 -38394.226 -8585.821 起点14 起点5 -38385.146 -8656.269 -38394.701 -8582.216 起点15 起点6 -38348.401 -8565.120 -38393,265 -8572.813 起点7 -8602.030 起点16 -8631.881 -38353.476 -38252.541 起点8 -38378 122 -8594.515 起点17 -38385 965 -8572.553 起点9 -38376.678 -8605.801 起点18 -38405.694 -8661.385

※起点の座標は、測量法(昭和24年法律第188号)の規定により、世界測地系座標計算によって作成した。
【凡例】

- --:単位区画
- ----:筆境界
- - :敷地境界
- ☑ : 形質変更時要届出区域
 - (令和5年東京都告示第1225号で指定した区域)
- : 形質変更時要届出区域 (令和6年東京都告示第219号で指定した区域)
- : 形質変更時要届出区域 (令和6年東京都告示第714号で指定した区域)

【格子の回転角度】

 ○起点1:3度54分14秒
 ○起点10:9度50分38秒

 ○起点2:85度40分43秒
 ○起点11:11度24分44秒

 ○起点3:5度17分2秒
 ○起点12:8度54分59秒

 ○起点4:4度45分54秒
 ○起点13:6度39分18秒

 ○起点4:4度45分54秒
 ○起点13:6度39分18秒

 ○起点5:15度8分37秒
 ○起点14:6度36分21秒

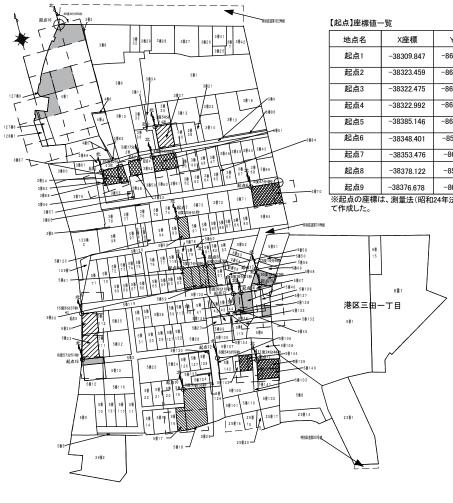
 ○起点6:5度47分4秒
 ○起点15:10度19分23秒

 ○起点7:6度53分41秒
 ○ 起点16:89度30分50秒

 ○起点8:6度52分7秒
 ○ 起点17:32度14分6秒

 ○起点9:7度17分40秒
 ○ 起点18:8度57分51秒

格子の回転角度は、起点を通り、東西方向及び南北方向 に引いた線並びにこれらと平行して10m間隔で引いた線 により構成されている格子を、起点を中心として、右回 りに回転させた角度を示す。



規

程

交

交通局規程第四十号

東京都乗合自動車IC一日乗車券の発売等に関する規程 部を改正する規程を次のように定める。

東京都交通局長 久 我

英

男

及び十四番九

令和六年八月五日

関する規程の一部を改正する規程 東京都乗合自動車IC一日乗車券の発売等に

(平成十九年交通局規程第七号)の一部を次のように改正 東京都乗合自動車IC一日乗車券の発売等に関する規程

乗合自動車、 鉄道線等との連絡運輸に関する規程」を「及び東京都電車 電車及び日暮里・舎人ライナーと東日本旅客鉄道株式会社 第十六号)に基づいて発売した乗車券」を削る。 日本旅客鉄道株式会社鉄道線等との連絡運輸に関する規 企画乗車券の発売等に関する規程 第六条第五項中「、東京都電車、乗合自動車、 に改め、 地下高速電車及び日暮里・舎人ライナーと東 「及び東京都交通局と関東の鉄道会社等との (平成三十年交通局規程 地下高速

附 則

この規程は、令和六年八月六日から施行する。

公 告

開発行為に関する工事の完了について

項の規定に基づき許可した次の開発行為に関する工事は、 市計画法 (昭和四十三年法律第百号) 第二十九条第

(第18118号)

完了した。

令和六年八月五日

東京都多摩建築指導事務所長

木 竜

開発区域又は工区に

住所及び氏名

有限会社KAKUI C

代表取締役 井上 耕一

武蔵村山市岸三丁目十三番八 含まれる地域の名称 埼玉県入間市下藤沢一丁目

一の一部(第一工区) 立川市泉町九百三十五番地 大和ハウス工業株式会社 敏伸

|電話 ○三(五三二一)一一一(代) 東京都新宿区西新宿二丁目八番一号東

発 行

定 価 箇月 六〇〇円

郵便番号 本号 (郵送料を含む。) 五〇円 印刷所 |電話 ○三(五二七六)○八一一(代) 東京都千代田区神田神保町二丁目三十二番地一 鈴

101-0051 リサイクル適性(例)

印 刷

式 会 社 郵便番号